国際ロータリー第2530地区（旧承認番号 3992）

KORIYAMA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT 2022－2023

Rotary　イマジン ロータリー

郡山ロータリークラブ ウェブサイト http://k-rc.main.jp/

第10回　2022年9月15日

会長挨拶

佐藤尚宏 会長

皆様、こんにちは。ゲストをご紹介致します。本日卓話を頂きます朝河貫一顕彰協会代表理事・東日本学院元代表の渡邊剛様です。

ニューヨーク州でポリオに関する非常事態宣言が9月9日から10月9日の間、発令となりました。ロータリーの対応も必要になって来ると思われます。

さて、ロータリーと言えば職業奉仕ということで、職業分類についてですが、郡山RCにはプロスポーツ選手はいませんが、ゴルフにもプロがございます。その中で今一番大きなアメリカのPGAツアー、その次がヨーロッパのDPツアーの中でLIV招待というものが今年サウジアラビアのファンドが全面バックアップで発会しました。今年は8試合、48名が招待されて3日間だけ54ホールをショットガンスタートで行う競技になっております。選ばれし48名、コンペみたいなもので予選落ちはありません。タイガー・ウッズには1,000億、松山選手には400～500億のオファーが出たそうですが、お二人とも断ったということで、何で断るかというとこれに出てしまうとPGAの方に出ないという約束をしなければならない。是非私は松山君を応援してますのでPGAに残って頂いて、コンペではない本当の戦いを見せて頂きたいなと思っています。

新会員紹介

新城義雄君

横江良司君を紹介します。1956年のお生まれで、慶応義塾大学を卒業され三越に入社、その後2017年にうすい百貨店にいらっしゃって、今回代表取締役となられました。奥さんとお子様が3人、趣味は旅行・ジョギングです。

新入会員挨拶

㈱うすい　代表取締役　横江良司君

この度は栄えある由緒ある郡山RCに入会を先般の会合にてご承認頂きまして、誠にありがとうございます。また常日頃、皆様方には何かとうすい百貨店をごひいき頂いておりまして、改めて御礼申し上げます。精一杯郡山RCの活動に貢献できるように邁進して参りますので、どうぞご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

所　属　親睦活動委員会
推薦人　新城義雄君、橋本謙一君

マルチプル・フェローピン贈呈

初瀬照夫君

財団に寄付をさせて貰いましたが、財団と米山は寄付がないとやっていけません。でもやっぱり郡山RCの基本は物やお金じゃありません。ハートが大事ですので、そこを基本にし、それを分かって寄付をするというのが郡山RCなのかなと思っております。

幹事報告

橋本　勝 幹事

先週、地区大会のご案内をして皆さんにメールが行ったかと思うんですけど、是非とも出席して頂きますよう宜しくお願いします。それと地区大会記念ゴルフ大会が来ました。日時は10月30日㈰です。会津磐梯カントリークラブ、各クラブから2名ほどの参加依頼が来ておりますので、私と会長とあと1名、名指しでお願いしに参ります。我こそはという方がいれば私か事務局までご連絡下さい。ロータリーリーダーシップ研究会から第5期パート2開催のご案内ということで、10月9日㈰に開催されます。我ぞという方がいればお願いします。

親睦活動委員会報告

横山　大 委員長

今週の土曜日にゴルフコンペを20名5組で行ってきたいと思います。夜の表彰式は6時から三松会館で行います。来週夜の例会をアサヒビール園で開催致します。5時20分にホテル前からバスが出ます。今回はジンギスカンのみで行います。10月のコンペも募集しておりますので、参加を宜しくお願いします。

ニコニコBOX委員会報告

佐藤　聡 委員長

◎本日も例会へのご参加、ありがとうございます。
渡邊様の卓話、宜しくお願い致します。　佐藤尚宏君
◎今日は第10回例会です。また、渡邊剛さんの卓話、楽しみに!　橋本　勝君
◎渡邊剛先生、ご光来ありがとうございます。　安藤智重君
◎渡邊様、本日の卓話お世話になります。宜しくお願い致します。　山口　仁君

プログラム紹介

安藤智重 委員

今月は教育の月間ということで留学応援事業の奨学金についてお話しいただきます。渡邊先生は朝河貫一博士顕彰協会代表理事・東日本学院グループ創立者で、昭和28年二本松市のお生まれです。早稲田大学大学院修了・HAS代表取締役・ケント英会話スクール元代表、永年民間教育に携わり地域の教育文化の向上に寄与されています。星野剛士のお名前でご著書も出されております。どうぞ宜しくお願い致します。

ゲスト卓話

「ふくしまの高校生海外留学応援事業について ～朝河貫一に続く若者を育てよう～」

朝河貫一顕彰協会代表理事
東日本学院元代表
渡邊　剛氏

朝河貫一顕彰協会、そして朝河貫一研究会というのもあります。顕彰協会は顕彰です。研究会は研究なのですが、私はどちらにも属し、研究と顕彰会を繋ぐような役割もさせて頂いております。

ところで、朝河貫一のお墓は一つがニール大学のキャンパス内、もう一つは二本松市役所のすぐ上の墓地にあります。そこはうちのお墓と同じ墓地なので、縁を感じ朝河の研究をしようと思っておりました。今、ウクライナで大変なことが起きていますが、大戦の時代に、昭和天皇に親書を書かせて、「絶対戦争をしないようにしましょう」と、アメリカの大統領を動かしたのが朝河貫一です。国費でないと留学など難しい時代に、彼の優秀さを認めたダートマスという大学の学長が留学を受け入れました。更に超一流の大学で研究し、ドクターを取って私の大学で教えてくれとも伝えました。彼は自分がやりたい研究はイエールが一番向いているということで、イエール大学で研究をします。そこで書いた博士論文というのが、大化の改新を書いた『日本における初期の制度的生活、645年改革の研究』です。本年、朝河貫一顕彰協会に1億もの寄付がありました。株式会社高野という仙台の会社の社長さんで、創業者と現社長も福島県出身の方で、朝河貫一博士の功績に感銘を受けて寄付をされたということでした。

なぜ今朝河貫一なのか。日本が260年も鎖国をひいていた。1853年にペリーが「オープン ザ ドア」と言って、それでも開けようとしなかった。でも結局は力に負けて開けた。その時驚いたことは、どんなに自分達が引きこもっている間に西洋が進んでいたかです。最初は尊王攘夷で大反対していた薩摩も長州も、新しい時代を築かなければいけないと、初代の伊藤博文、大久保は猪苗代から水を引く大事業などを行ったというわけです。そうして国力を上げ、中国・ロシアを打ち破って世界が驚き、そして第一次世界大戦にも参加して、ドイツ領の南太平洋の土地を自分達の直轄にして、台湾・韓国・満州も自分達の統治下において、どんどん軍国主義を進めたわけです。その時に、こんなことをしてたらば日本は必ず滅びるよと、日本に対して警告を発したのが朝河貫一です。なぜか。世界に居たら、日本のことが良くも悪くもよく見えるということ。後に日本はとにかく戦争に負けました。その後、廃墟から何もない日本はまた立ち上がりました。とうとうアメリカに並ぶまでになった。僅か20～30年ぐらいで日本はあの廃墟から世界のトップのところまで並んだわけです。それは世界から見たら大変な脅威でした。ハーバードのエズラ・ヴォーゲルという博士は、それを「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と本に書きました。その本の1/3を使って書いたのが、なぜ日本は、おチビちゃんで色もイエローで、鉄鋼・石油もなく国土も狭い、それがなぜ世界のトップに並んだんだろうと。答えは教育だったのです。日本の教育は世界一だったのです。但しそれは要領よく詰めこんで、要領よく正解を出すかという教育でした。追いつくまではそれで良かったのです。誰かが考えたものを真似して分解して、より良いものを安く作ればいいだけだから。しかし並んだ時に真似するものも無くなったのです。

しかし、これじゃ駄目だとなりました。自分達で考えて作り出す教育をしないと、本当の意味の世界のリーダーになれない。じゃあどうするか。考える時間を与え、土曜日を休みにして、その時間で子供達が博物館に行ったり興味ある勉強を図書館に行って調べたり、そういうことをする時間に充てさせようとしたが、うまくいかない。自分達で考えることができるようにしてから自由を与えなければ、遊びほうけて学力が下がり、勉強しなくなった国民は当然ながら経済力も下がり、国力も下がります。日本の国際的地位はどんどん下がってしまっています。それではいけないということで、高野様と我々が一生懸命話をして、やはり世界のトップレベルの教育にもう一度立ち帰らなければならない。その為に奨学金を使ったら、これは福島県にとっても素晴らしいことであり、それも震災で大変酷い状況に置かれた中ですから、ここから本当に子供達が立ち上がって世界で学んだら、それは10年20年50年後にきっと地域にも返ってくる筈だというのが今回の寄付の趣旨です。

世界のランキング100の大学で、中国の大学が博士論文で引用する数でアメリカを追い越しました。まさにアメリカに追いつけ追いこせです。今回のこの奨学金制度は、まず地域、福島の子供達が、家庭的に経済的には無理だとしても年間400～500万の留学費用をここから出してあげたい。その代わり本気になって学んで地域・日本いや世界に羽ばたくような、そういう若者になって欲しいという思いによってできました。そして、高野様が扱う任天堂というのはトランプや花札を作ってる会社です。あれが一気に伸びましたよね。それはマーケットを世界にしたからです。そしてとうとうマリナーズを買収しましたよね。世界をマーケットにすれば日本の人口が減っても心配ない、そういうことを子供達に教えて、感じて貰って是非これからの新しい時代を彼らに引っぱっていって貰おう。その為の奨学金制度です。なぜこういうのができたか、それは世界・日本・福島という大きな流れの中でご理解頂ければ大変嬉しく思います。

出席報告

有賀隆宏 委員長

総員／101名　出席／49名　欠席／52名
出席率／48.51%　前回修正率／65.17%
他クラブ出席／5名

次回 第12回例会
令和4年10月6日㈭
会員卓話

「自己紹介」
東京海上日動火災保険㈱ 郡山支社
支社長　前田宏一君

㈱堀川環境セキュリティー
代表取締役　堀　川　紀　房
〒963-0725　郡山市田村町金屋字孫右エ門平89
☎ 944-9514　FAX 944-9524

（公財）星総合病院
理事長　星　北　斗
〒963-8501　郡山市向河原町 159-1
☎ 983-5525　FAX 983-5526

会報第10号(通算3387号)2022.9.22発行 / 編集責任者:橋本 勝　編集:クラブ会報委員会　委員長 矢部 浩樹
副委員長 石井 祐一／委員 青木 誠・伊藤 清郷・大山 勇起